

平成 29 年度（2017 年度）

日田市埋蔵文化財年報



城下町遺跡（国指定重要文化財 草野家住宅：店舗部）

発刊にあたって

日田市には、長い歴史と伝統に育まれた文化財が数多く残されています。

市では、これら貴重な文化財を市民共有の財産として後世に永く伝えていくため、その保存と継承、活用に努めているところです。

埋蔵文化財においては、その存在及び取り扱いについての周知を行い、埋蔵文化財の保存を図るとともに、発掘調査などで得られた日田市の歴史や文化についての情報を、より多くの市民の方々へ発信するよう努めているところです。

さて、平成29年度には、各種開発に伴い失われる埋蔵文化財に対し記録保存のための発掘調査を実施したほか、指定文化財の保存修理工事や災害復旧工事に伴う発掘調査も実施しております。本書は、この日田市での1年間の埋蔵文化財行政の概況をまとめたものであります。

最後になりますが、埋蔵文化財の調査及び普及・啓発にご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。

平成31年3月

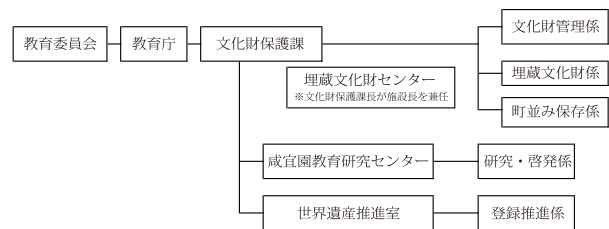
日田市教育庁文化財保護課長 梶原 康弘

例言

1. 本書は、平成29年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターに保管・展示している。
3. 表紙写真は、国指定重要文化財である草野家住宅（城下町遺跡）の店舗部の全景である。裏表紙は、災害復旧工事を実施した県指定史跡である永山城跡である。
4. 本書の執筆、図表の作成は、Ⅰ(1)を今田秀樹（平成30年度係員）と上原が、Ⅲ(1)(2)を行時が、Ⅲ(3)を上原が、Ⅲ(4)を上原が行い、その他は各担当が行い、文末に担当者名を記している。
5. 編集は、平成30年度の埋蔵文化財係職員の協力のもと、今田が行った。

組織

日田市における平成29年度の文化財保護部局の行政組織および文化財保護課埋蔵文化財系の体制は、以下のとおりである。



[埋蔵文化財係]

主幹（総括）	古賀 信一：事業総括
主査	行時 桂子：史跡永山城跡・民間開発・普及啓発・予算調整管理担当
主査	渡邊 隆行：史跡咸宜園跡（西家）・史跡ガランドヤ古墳・重要文化財修理担当
主査	若杉 竜太：史跡永山城跡・史跡廣瀬淡窓旧宅及び墓・報告書作成事業担当
主査	長 祐一郎：庶務担当
主任	上原 翔平：収蔵資料整理保管・史跡小迫辻原遺跡・事前審査・埋蔵文化財補助事業担当
嘱託	塩川 勇二郎：埋蔵文化財センター管理担当

目次

発刊にあたって

I 埋蔵文化財調査事業	1	Ⅲ 普及・啓発事業	12
（1）埋蔵文化財調査の概要	1	（1）埋蔵文化財センター運営事業	12
（2）発掘調査・確認調査の概要	6	（2）普及啓発事業	13
II 史跡等整備事業	11	（3）重要文化財の保存修理	15
1. 国指定史跡咸宜園跡		（4）その他	16
2. 国指定史跡廣瀬淡窓旧宅及び墓		IV 史跡の災害復旧	17
3. 国指定史跡ガランドヤ古墳		1. 県指定史跡永山城跡	
		2. 国指定史跡ガランドヤ古墳	

I 埋蔵文化財調査事業

(1) 埋蔵文化財調査の概要

◇埋蔵文化財の対応状況（表1～7）

平成29年度に実施した発掘調査は、民間開発に伴うものが2件、個人住宅建築に伴うものと国指定重要文化財草野家住宅の保存修理工事に伴うものがそれぞれ1件の計4件で、公共事業に伴う本調査は無かった。

面積単位：㎡

番号	遺跡名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査期間	費用負担	調査担当者
1	日田条里遺跡下中城地区	淡窓町	民間	病院建設	3,463	416	0627～0904	事業主	上原
2	柳ノ本遺跡3次	大字竹田	民間	リハビリ棟増設	468	185	1017～1121	事業主	上原
3	日田条里遺跡下道地区	淡窓町	民間	個人住宅	708	178	0920～1028	国庫	渡邊
4	城下町遺跡	大字豆田	民間	保存修理工事	1,599	241	0822～1130	国庫	若杉

表1 発掘調査一覧表

民間開発や公共事業など各種開発に伴う“埋蔵文化財の所在の有無について”の文書による照会は107件あり、うち民間開発が73件、市公共事業が34件であった（表2・5～7）。

民間開発に伴う文書照会は73件と前年度に比較して7件減少したが、市の公共事業に伴う事前照会件数は34件と前年度より12件増加している。

民間開発については、例年と同様に個人住宅建築が22件と最も多く、次に宅地分譲地造成が14件で、共同住宅建築などを合わせた居住空間にかかるものが計41件と申請全体の約56%を占めている状況である、このほかには、コンビニエンスストアなどの店舗建設や太陽光発電設備が4件ずつあるが、その他特筆すべき状況はみられない。

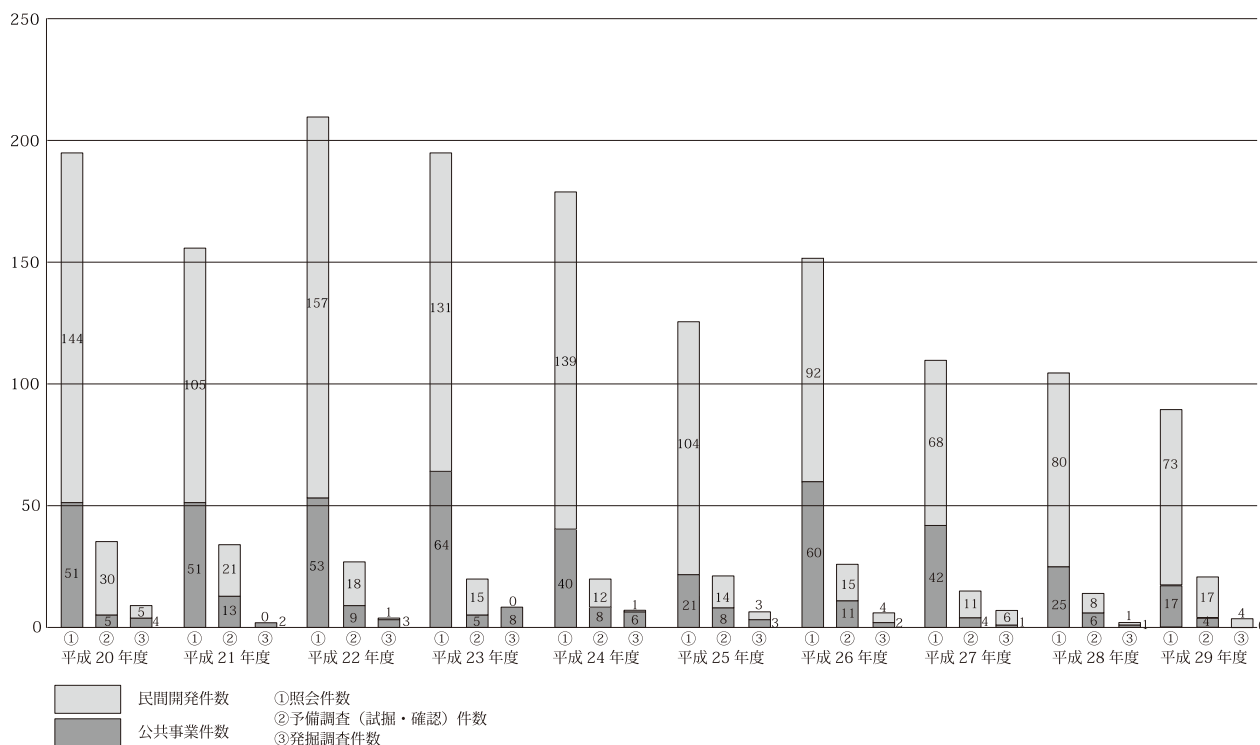
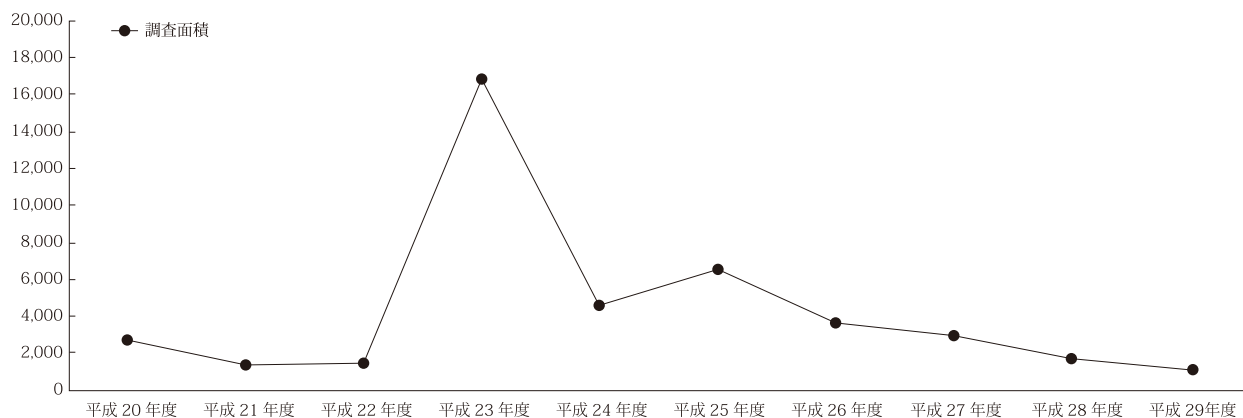


表2 埋蔵文化財の調査件数と調査面積の推移

市の公共事業については、前年度増加傾向の見られた施設の老朽化や小学校等の跡地利用にかかる事業が10件と昨年の13件に比べやや減少し、逆に、前年度1件だった市道改良工事などは6件と増加している。このほかには、公民館建築や公園整備、急傾斜地崩壊対策や防火水槽設置など、市民の普段の生活に直結する事業のほかに近年の豪雨に対応するための雨水貯留施設設置に伴うものもあった。

なお、これらの事前照会を受けて実施した予備調査（確認調査等）は21件（民間17件、市公共4件）であり、前年度の14件と比べると1.5倍に増えている（表4）。



調査面積	2,654	1,292	1,392	16,837	4,583	6,496	3,578	2,894	1,630	1,020
専門職員数	5	5	6	5	5	4	4	4	4	4
嘱託職員数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

表 3 調査面積と担当者推移

番号	遺跡名	区分	調査場所	事業目的	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	時代	遺構等	遺物	受付番号	処置
5	三和教田遺跡	民間	大字三和字峯 637-5	車庫建築	75	8.4	4/12	確認	—	—	—	2016077	工事实施
6	慈眼山遺跡	民間	上城内町1046-1	介護施設建築	874	13	4/21	確認	中世	土坑・溝状遺構・ピット	土師質土器・青磁	2016078	工事实施
7	日田条里遺跡	民間	淡窓1丁目315番2	モデルハウス建築	707.05	37	5/10～5/19	確認	弥生・古墳	竪穴建物・溝状遺構・土坑・ピット	土師器等	2017002	発掘調査
8	大波羅遺跡	民間	大字北豆田字平ノ下1452-1外	残土処理場建設	3,929	13	5/15	確認	—	—	—	2016074	工事实施
9	日田条里遺跡	民間	田島1丁目519番,521番	共同住宅建築	458.35	19	6/20	確認	—	—	—	2017013	工事实施
10	日田条里遺跡	民間	中城町345番8	個人住宅建築	147.5	7	7/13	確認	—	—	—	2017017	工事实施
11	城下町遺跡	民間	丸山2丁目81番地	宅地造成	1,730.63	42	7/25	確認	—	—	—	2017018	工事实施
12	日田条里遺跡	民間	大字西有田字三反田88外	宅地造成	2,358.13	52	8/1	確認	—	—	弥生土器・陶磁器	2017016	工事实施
13	柳ノ本遺跡	民間	大字竹田字柳ノ本646-1	病院リハビリ棟増改築	468	55	9/6～9/8	確認	弥生・古墳・古代	竪穴建物・溝状遺構	弥生土器・土師器・須恵器	2017026	発掘調査
14	慈眼山遺跡	民間	上城内町438番外	宅地造成・アパート建築	2,185	56	10/5	確認	中世	溝状遺構・土坑・ピット	土師質土器・青磁	2017035	工事实施
15	城下町遺跡	公共	港町400-1外	倉庫建築	205	40	10/25	確認	弥生	土坑・溝状遺構	弥生土器	2017614	発掘調査
16	銭測遺跡	民間	大字高瀬字モタフリ472番1外	宅地造成	1,446	16	10/31	確認	—	—	—	2017041	工事实施
17	郷四郎遺跡	民間	大字十二町字庄屋503番地1	工場増築	215.87	3	11/14	予備*	—	—	—	2017037	工事实施
18	三和教田遺跡	民間	大字三和字免倒町938番6外	宅地造成	2,185.71	70	11/16～11/17	確認	—	—	—	2017028	工事实施
19	塚原遺跡	民間	大字三和2709-1	工場増築	65.7	11	11/30	予備*	—	—	—	2017032	工事实施
20	日田条里遺跡	公共	吹上町1242-59	道路改良	33.9	8	12/5	確認	—	—	—	2015628	工事实施
21	三和教田遺跡	公共	大字三和947番1外	公民館建築	2,300	226	1/16～1/23	確認	縄文	溝状遺構・土坑	縄文土器	2017609	発掘調査
22	永山布政所跡	民間	丸山1丁目9番52号	個人住宅建築	214.24	9	1/24	確認	近世	土坑・溝状遺構	—	2017044	工事实施
23	城下町遺跡	公共	豆田町9-15	舗装整備	384	10	2/14・27	予備*	—	—	—	2017633	工事实施
24	三和教田遺跡	民間	大字三和字西ノ更2684番4外	宅地造成	2,941.59	85	3/14～3/15	確認	弥生	土坑・溝状遺構・ピット	弥生土器	2017048	工事实施
25	永山城跡	民間	丸山2丁目6番	樹木植樹	180	62	2/21～3/30	確認	近世	—	陶磁器 ほか	2017067	工事实施

表 4 予備調査一覧表

※調査区分の「予備*」は、相手方から重機等の提供を受け調査したものの

照会日	照会番号	事業主体	照会内容	対象地	開発面積(m)	遺跡名	判断結果
4/4	2017001	民間	個人住宅建築工事	大字西有田字小入道 195-3 外	479.58	周知外	—
4/4	2017002	民間	モデルハウス建築工事	淡窓1丁目315-2	262.6	日田条里	予備調査
4/6	2017003	民間	個人住宅建築工事	三本松新町 746 番 3	114.38	瀧ヶ本	工事实施
4/10	2017004	民間	個人住宅建築工事	大字日高字東寺 431 番 3	230.47	日高	工事实施
4/19	2017005	民間	事務所建築工事	大字東有田字新山 2776-6 外	1,576.97	石ヶ迫	工事实施
4/19	2017006	民間	発電機及び貯蔵タンク設置工事	大字西有田字天神平字 633	27	坂本古城跡	工事实施
4/24	2017601	公共	公立教育・保育施設進入路整備事業	大山町西大山 3494 番地 1 外	520	中川原	慎重工事
5/9	2017007	民間	個人住宅建築工事	南元町 262 番地	551.06	入籠	工事实施
5/11	2017008	民間	個人住宅建築工事	大字渡里字熊取 163-1 外	455.8	周知外	—
5/15	2017604	公共	市営急傾斜地崩壊対策事業	天瀬町女子畑 1679-1 外	426.2	周知外	—
5/15	2017605	公共	市営急傾斜地崩壊対策事業	大字夜明字祝原 1436-1	129.4	周知外	—
5/18	2017009	民間	個人住宅建築工事	上城内町 1077-13	332.66	慈眼山	工事实施

表 5 照会一覧表 (1)

照会日	照会番号	事業主体	照会内容	対象地	開発面積(㎡)	遺跡名	判断結果
5/19	2017010	民間	太陽光発電設備	大字上野 894 番 1 外	9,338	上野	工事実施
5/24	2017602	公共	公立教育・保育施設階段設置等事業	大山町西大山 3494 番地 1 外	8	中川原	慎重工事
5/26	2017011	民間	陶土採掘場緊急整備工事	大字鶴河内 203 番地 1 外	1,450	周知外	—
5/31	2017012	民間	個人住宅建築工事	大字三和字小杉 29 番 9	102.53	日田条里	工事実施
6/1	2017013	民間	共同住宅建築工事	田島 1 丁目 519 番外	458.35	日田条里	工事実施
6/1	2017014	民間	個人住宅建築工事	刃連町 25 番 1	115.92	上井手	工事実施
6/6	2017015	民間	宅地造成工事	丸ノ内町 623 番 1	2,191.37	周知外	—
6/7	2016078②	民間	福祉施設新築	上城内町 1046-1	874	慈眼山	工事実施
6/12	2017603	公共	駐輪場整備工事	三本松 1 丁目 12-1	97.56	周知外	—
6/16	2017016	民間	宅地造成工事	大字西有田字三反田 88 外	2,358.13	日田条里	予備調査
6/16	2017017	民間	個人住宅建築工事	中城町 345 番 8	147.5	日田条里	予備調査
6/22	2017018	民間	宅地造成工事	丸山 2 丁目 81 番地	1,730.63	城下町	予備調査
6/27	2017022	民間	個人住宅建築工事	淡窓 1 丁目 315-2	707.5	日田条里	予備調査
6/30	2017021	民間	共同住宅建築工事	田島 1 丁目 158 番外	485	日田条里	工事実施
7/4	2017019	民間	宅地造成工事	大字西有田 172 番地 1 外	1,823.69	日田条里	工事実施
7/4	2017020	民間	宅地造成工事	大字渡里字拍手 41 番 1 外	6,391.96	周知外	—
7/7	2017023	民間	モデルハウス建築工事	吹上町 1289 番 4 外	101.02	日田条里	工事実施
7/7	2017024	民間	店舗建設	大字渡里字鳥ノ本 1052 番地 1 外	793	日田条里	工事実施
7/24	2017025	民間	病児保育室建設	淡窓 2 丁目 771-3 外	102.66	日田条里	工事実施
7/27	2017026	民間	リハビリ棟建設	大字竹田字柳ノ本 646-1	468	柳ノ本	予備調査
8/3	2017027	民間	場外福祉施設建設工事	大字庄手字松山 397-2 外	2,818.86	周知外	—
8/4	2017606	公共	雨水貯留施設工事	中城町 224-1 外	5,000	日田条里	慎重工事
8/8	2017028	民間	宅地造成工事	大字三和字免倒町 938 番 6 外	2,185.71	三和教田	予備調査
8/8	2017030	民間	個人住宅建築工事	大字友田字三郎丸 2045 番 1	210.47	三郎丸	工事実施
8/9	2017029	民間	工場建設工事	大字友田字其田 79 番 1 外	2,583.75	周知外	—
8/22	2017031	民間	個人住宅建築工事	上城内町 1077 番地 15	188.8	慈眼山	工事実施
8/29	2017032	民間	工場増改築工事	大字三和 2709-1	65.7	塚原	予備調査*
9/5	2017033	民間	太陽光発電設備	大字山田字山の口 1223 番 1	4,960	周知外	—
9/6	2017034	民間	重症心身障がい児(者)拠点施設工事	大字友田字田中 516 番地 1 の一部	208.4	周知外	—
9/6	2017035	民間	宅地造成・アパート建設	上城内町 438 番外	2,185	慈眼山	予備調査
9/6	2017036	民間	宅地造成	大字小迫字左京平 1093 番外	2,206.08	本村	工事実施
9/21	2017037	民間	工場増築工事	大字十二町字庄屋 503 番地 1	215.87	郷四郎	予備調査*
9/25	2017038	民間	個人住宅建築工事	大字高瀬誠和町 325-3	277.04	銭瀧	予備調査
9/26	2017039	民間	園舎建替	大字三和 145 番	1,548.03	日田条里	工事実施
10/5	2017040	民間	店舗建設	大字友田字田中 519 番 4 外	1,181	周知外	—
10/10	2017607	公共	多目的倉庫建設事業	田島 2 丁目 228-2 外	400	日田条里	慎重工事
10/12	2017041	民間	宅地造成	大字高瀬字フタモリ 472 番 1 外	1,446	銭瀧	予備調査
10/12	2017608	公共	公園整備工事	豆田町 76 番地	248.8	城下町	内容により調査
10/12	2017609	公共	公民館建築工事	大字三和字長者町 947 番 1 外	2,300	三和教田	予備調査
10/17	2017610	公共	ポケットパーク整備工事	亀山町 144-1	423	周知外	—
10/17	6017611	公共	市道改築事業	大字十二町 509-1 外	3,600	郷四郎	慎重工事
10/17	6017612	公共	市道線改築事業	丸山 1 丁目 117 番外	10,500	日田条里・城下町	慎重工事
10/20	2017613	公共	東屋新築工事	豆田町 9 番 15 号	97.74	城下町	慎重工事
10/20	2017615	公共	中学校プール改築工事	銭瀧町 288 番地	700	銭瀧	内容により調査
10/20	2017616	公共	防火水槽設置工事	大字東有田 1767 番地	91.1	周知外	—
10/20	2017617	公共	防火水槽設置工事	大字山田 118-1	91.1	岩崎	H30 年予備調査予定
10/20	2017618	公共	コミュニティ消防センター建設事業	大字大原 870 番地	112	影ノ木	慎重工事
10/20	2017619	公共	雨水貯留施設設置工事	田島 1 丁目	2,120	日田条里	内容により調査
10/20	2017620	公共	前津江振興局解体工事	前津江町大野 2189-1	1,063.9	周知外	—
10/20	2017621	公共	前津江振興局移転事業	前津江町大野 2158-1 外	1,403.76	山崎	H30 年予備調査予定
10/20	2017622	公共	大山振興局跡地整備事業	大山町西大山 3545-1 外	5,325	中大山	慎重工事
10/20	2017623	公共	普通財産施設解体事業	天瀬町合田 867	82.21	周知外	—
10/20	2017624	公共	市道線改良事業	吹上町	3,000	日田条里	確認調査
10/20	2017625	公共	市道改良事業	大字東有田	150	周知外	—
10/20	2017626	公共	市道改良事業	前津江町赤石	900	周知外	—
10/20	2017627	公共	市道改良事業	大字西有田	1,050	周知外	—
10/20	2017628	公共	小学校跡地利用活用対策事業	天瀬町塚田 816	—	周知外	—
10/20	2017629	公共	小学校跡地利用活用対策事業	大山町東大山 1125	—	周知外	—
10/20	2017630	公共	交流センター改修事業	大山町東大山 1127	—	周知外	—
10/20	2017631	公共	小学校跡地利用活用対策事業	前津江町柚木 2194-1	—	周知外	—
10/20	2017632	公共	小学校跡地利用活用対策事業	前津江町赤石 108	—	周知外	—
10/24	2017614	公共	倉庫建設工事	港町 400-1 ほか	205	城下町	予備調査
10/30	2017043	民間	共同住宅建築工事	大字三和字川原田 109-14	441.44	日田条里	予備調査
10/31	2017042	民間	卓球練習場工事	大字小迫 1037 番 2	165.45	鍛冶屋廻り	工事実施
11/20	2017044	民間	個人住宅建築工事	大字東有田 150	103.55	世尊寺	工事実施
11/29	2017633	公共	交流館造成・舗装工事	豆田町 9 番 15 号	672.6	城下町	慎重工事
11/30	2017045	民間	太陽光発電設備	天瀬町馬原字塔毛 983 番外	9,332.8	周知外	—
12/4	2017046	民間	資材置場用地造成	大字東有田字葉口 3969 番 5 外	7,414	周知外	—
12/5	2017047	民間	個人住宅建築工事	丸山 1 丁目 9 番 52	119.51	永山布政所跡	予備調査
12/5	2017048	民間	宅地造成	大字三和西ノ更 2684 番 4 外	2,941.59	三和教田	予備調査
12/8	2017049	民間	送電線改修工事	大字小迫字吹上原 186 番地外	128	吹上	予備調査
12/11	2017634	公共	公民館駐車場整備工事	大字日高 975 番	864	周知外	—
12/15	2017050	民間	駐車場造成工事	元町 164 番 165 番	700.67	周知外	—
12/15	2017051	民間	個人住宅建築工事	大字有田字赤迫 985 番 34 号	109.33	馬形	工事実施
12/25	2017052	民間	店舗建設	大山町西大山字宮ノ本 902 番地 2	1,278.41	中川原	工事実施
1/5	2017053	民間	宅地造成	大字友田字三郎丸 2064-1 外	19,899.77	周知外	—
1/11	2017054	民間	駐車場造成工事	大字北豆田字扇畑 1492 番外	2,544.14	赤迫	工事実施
1/12	2017055	民間	太陽光発電設備	天瀬町馬原 1048-1 外	1,020	周知外	—
1/25	2017056	民間	病院増改築工事	隈 2 丁目 151-1.152-3	345.24	城下町	工事実施
1/26	2017057	民間	集合住宅	大字三和字井ノ尻 822-3 外	474.56	三和教田	工事実施
1/26	2017058	民間	宅地造成	大字竹田字鬼塚 377 外	2,995.29	周知外	—
2/1	2017059	民間	個人住宅建築工事	大字日高字上井手 1362 番地	86.64	周知外	—
2/5	2017060	民間	個人住宅建築工事	丸の内町 709 番 3 外	135.8	城下町	工事実施
2/5	2017061	民間	個人住宅建築工事	大字日高 37 番 1	119.25	周知外	—

表 6 照会一覧表(2)

照会日	照会番号	事業主体	照会内容	対象地	開発面積(㎡)	遺跡名	判断結果
2/5	2017062	民間	資材置場兼商業店舗	大字渡里字小見取1123番1外	1,139.39	周知外	—
2/6	2017063	公共	貯木場拡張造成工事	大字大肥字ハシカ坪1632-1外	6,677.56	大肥	H30 予備調査*
2/7	2017064	民間	農業用倉庫	大字山田字上原633-1外	789.34	周知外	—
2/16	2017065	民間	資材置場	大字三和字日ノ本2690番1外	1,703.19	塚原	工事実施
2/21	2017066	民間	宅地造成	大字三和字織ノ本687番	2,178.92	周知外	—
2/22	2017067	民間	樹木植樹	日田市丸山二丁目6番	1.05	史跡永山城跡	予備調査
3/8	2017068	民間	宅地造成	吹上町1296ほか3筆	2,448.01	日田条里	予備調査
3/15	2017069	民間	店舗建設	大字十二町字前田558番1外	9,915.4	周知外	—
3/15	2017070	公共	個人住宅建築工事	大字北豆田字寺ノ道1320番12	281.67	周知外	—
3/27	2017072	民間	個人住宅建築工事	大字西有田字シミドウ172番12	110.13	日田条里	工事実施
3/29	2017071	民間	個人住宅建築工事	大字西有田字梅町525-1外	144.85	峰崎	工事実施

※判断結果の「予備調査*」は、相手方から重機等の提供を受けての調査が可能なもの。

表7 照会一覧表(3)



日田市中心市街地図①(1/40,000)

発掘調査位置図(図中の番号は、表1・4に対応する)

また、照会文書の提出前や不動産鑑定などにかかる埋蔵文化財包蔵地の事前問合せの件数は342件（民間330件、官公庁12件）と前年度の123件に比べて大きく増加している。照会内容の内訳をみると、その多くは不動産評価であり、159件（約46%）と半数近くを占める。次に、個人住宅や共同住宅建築、宅地造成など居住空間にかかるものが106件（約31%）と多い。このほか各種鉄塔・太陽光発電・店舗建設に絡むものなどと続くが、それぞれ全体の10%に満たない。また、地域的には、市街地の北西部（渡里・三和）が約16%、市街地の西部（十二町・友田）が約11%と他地域に比べ多い傾向が見て取れる。

以上のほか、この年は、前年の熊本地震により被災した県指定史跡永山城跡の災害復旧工事に伴う調査と、7月の九州北部豪雨により墳丘盛土が流出した国指定史跡ガランドヤ古墳の復旧工事への対応を行った。

◇発掘調査の内容（表1）

平成29年度は前述4件の本調査が実施され、縄文時代から近世にかけての遺構や遺物が認められた。

縄文時代の遺構は確認されなかったが、日田条里遺跡下中城地区で後期後葉の浅鉢片が数点出土している。

弥生時代から古墳時代にかけては、竪穴建物などの遺構を確認した。日田条里遺跡下中城地区では弥生後期前葉～後期中葉の竪穴建物が2軒、柳ノ本遺跡3次では弥生後期と古墳後期の竪穴建物が5軒検出された。

古代のものとしては、日田条里遺跡下道地区において2条の溝状遺構と柱穴とみられる小土坑などが検出された。

中世から近世にかけての明確な遺構としては、日田条里遺跡下中城地区の中世の柱穴が上げられ、調査区外に掘立柱建物が展開していることが想定されている。また、同遺跡では近世およびそれ以降の遺物が出土しており、時期不明の複数の柱穴などの遺構が、その時期にあたる可能性がある。

このほか国指定重要文化財草野家住宅の保存修理工事に伴い調査した城下町遺跡では、その店舗部において近世期のカマドの位置が判明したほか、土間の下層より明和9年の大火の痕跡とみられる焼土層が認められている。

この年調査が行われた遺跡のうち、城下町遺跡以外の2遺跡3件は開発行為に伴う調査であり、いずれも盆地の中心付近に位置する遺跡である。また、この2遺跡では、これまでにも遺跡地内での調査が複数個所で行われており、今回の調査結果も含めて、盆地内で行われてきた過去の土地利用のあり方に対する新しい情報を得ることが出来た。



日田条里遺跡下中城地区作業風景



柳ノ本遺跡3次作業風景



永山城跡石垣復旧工事現地指導風景
(熊本大学 大谷順教授)



日田条里遺跡下道地区作業風景

(2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 日田条里遺跡下中城地区

—病院建設に伴う発掘調査—

日田条里遺跡下中城地区は、日田盆地のほぼ中央、三隈川と花月川の河川作用によって形成された標高約86mの沖積地に位置し、国指定史跡である咸宜園跡の西家（塾の西側）の北側に位置する。

調査は、事前の確認調査で遺構等が確認された範囲419㎡において遺構検出したのち、建物基礎等により深く掘削される213㎡に対しての発掘調査（完掘）を行った。

調査では、弥生時代後期前葉から中葉頃の竪穴建物2軒、中世の掘立柱建物1棟（1号）が認められ、このほか明確な時期は判断出来ないが竪穴建物1軒、掘立柱建物1棟、溝状遺構1条と多数のピットを検出した。また、遺構には伴わないが縄文時代後期後葉の浅鉢片が出土している。

竪穴建物は、調査区中央付近から南東側で検出されている。1号竪穴建物は約5.0m×6.0mの長方形を呈し、2本柱と想定され、屋内土坑を持つものの、炉とみられる痕跡は確認されなかった。

掘立柱建物も同様に調査区南東側で検出されている。

なお、調査区北側から北西側にかけては、礫層が広がり、遺構は検出されなかった。

調査の結果、遺構検出面の状況や検出遺構の配置などから、旧地形では調査区南東側がその北西側よりも高く、微高地が展開していたものと見て取れた。あわせて、弥生時代後期以降、この微高地には集落として利用され、調査区北～北西側にかけて遺構が存在しないことから、そこが当時の集落境であった可能性を考える事ができた。

今回の調査では、近隣に存在していた近世日本最大の私塾である咸宜園に関連するような遺構を確認する事はできなかった。しかし、近世の遺物の出土や、近世の可能性のある2号掘立柱建物などが確認されたことから、今後も周辺の開発において、引き続き注意が求められる。（上原）



遺跡位置図 (1/5000)



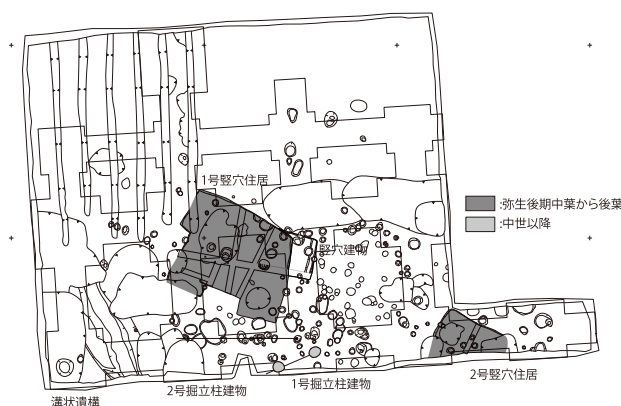
調査区全景 (北西より)



1号竪穴建物 (北から)



1号竪穴建物遺物出土状況



遺構配置図 (1/150)

2. 柳ノ本遺跡3次

ーリハビリ棟（病院施設）増設工事に伴う発掘調査ー

柳ノ本遺跡は、日田盆地東部、標高90m前後の三隈川右岸沖積地の微高地に所在する。

今回の調査地は、南東から北西にむかって緩やかに傾斜しており、その北西側には礫層が広がっていた。なお、調査区北側には、前年度に調査した同遺跡1次・2次調査区が隣接する。

調査は、事前の確認調査によって遺構が確認され、遺跡の存在が認められた468㎡に対して遺構検出を行い、このうち建物基礎等により深く掘削される185㎡の発掘調査（完掘）を行った。

なお、調査区の南東側で弥生時代以降の遺構と遺物が認められたが、礫層が表れている北西側では遺構がみられなかった。

主な遺構としては、弥生時代後期と古墳時代後期の竪穴建物が5軒認められ、それらのほかに複数のピットを検出した。

調査の結果、複数が切り合う状況で検出された竪穴建物は、調査区南東側に片寄るように認められ、確認調査の結果を含めて、ここが居住区域の西端と見て取れるとともに、居住区域は調査区よりさらに南東方面に展開していることが判った。

当遺跡では、これまでの1・2次調査で弥生時代中期後半、同後期後半から古墳時代前期、古代の時期の竪穴建物が確認されていたが、今回の3次調査では新たに古墳時代後期とみられるものが確認された。このことから、弥生時代中期後半から古代にかけての期間に、当時の人々が、より長く遺跡地を居住域として利用していたことが判った。

また、1・2次調査で確認された墳墓（弥生時代後期中頃から古墳時代前期）は、3次調査区内からは検出されず、墓域が1次調査地の南側には展開しないことも判った。

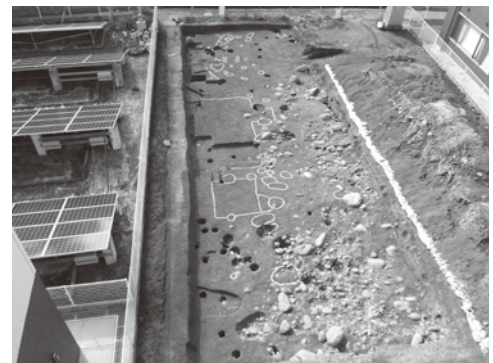
以上のように、これまでの調査で、遺跡地での原史・古代の土地利用の一端を垣間見ることができてきている。

今後は、遺跡地に展開される居住域や墓域を想定し、引き続き各種開発に注意して対応していく必要がある。

（上原）



遺跡位置図 (1/5000)



調査区全体 (北から)



竪穴建物 (西から)



調査区全体 (西から)

3. 日田条里遺跡下道地区

—個人住宅建築に伴う発掘調査—

日田条里遺跡下道地区は、日田盆地のほぼ中央に位置し、標高約88mの沖積地に所在する。

調査地の南側には微高地が広がっており、地形的にはそこから調査区に向かって下がっており、微高地との比高差は0.7m程で、調査地が低い。

調査は、建物基礎等によって深く掘削される部分178㎡を対象に実施した。

調査の結果、現地表面下60cm～120cm下から黄褐色土の自然堆積層に掘り込まれた溝状遺構2条とピットが多数検出された。

これらの遺構の時期は、出土遺物から7～8世紀頃と考えられる。

また、調査地とその南方向にある微高地との境界を示すように溝が巡っており、溝の南側のみ柱穴が並ぶ事から、この溝状遺構は敷地区画境界を示す何らかの施設であったものと考えられる。

調査地周辺では、官衙的要素の強い公的施設の一部を垣間見ることができた大波羅遺跡や、その大波羅遺跡との関連が想定される日田条里遺跡飛矢地区など古代の遺跡の調査例がある。また、今回の調査では、硯の可能性のある須恵器の坏蓋が出土している。

以上のことから、調査地は大波羅遺跡で認められた公的施設に関連する可能性があること、調査地付近まで公的施設に関連する遺構の存在を窺うことができたことなどが、今回の調査成果として上げることができる。

このほか、調査区から南方に10mほど離れた位置で行った確認調査では、古墳時代前期とみられる土坑などの遺構が確認されていることから、南側の微高地上にはその下の今回の調査地周辺とは異なる時期の遺跡が広がっている可能性を把握する事ができた。

今後は、周辺一帯の開発において、以上の状況を踏まえて、注意して対応していく必要がある。

(上原)



調査地位置図 (1/5,000)



調査区全体 (東から)



溝状遺構発掘状況 (南から)



調査区全体 (南から)

4. 城下町遺跡（草野家住宅）調査概要

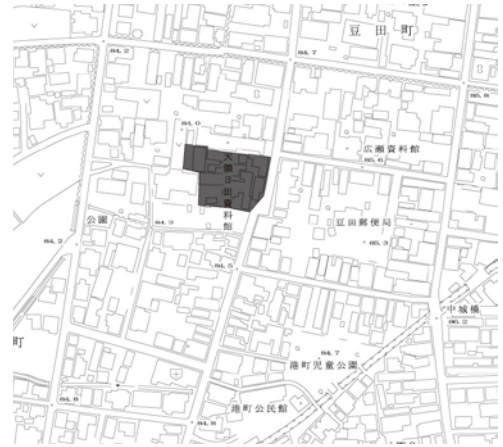
—保存修理工事に伴う発掘調査—

城下町遺跡は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町を中心とする遺跡である。調査は昨年度に引き続いて草野家住宅（国指定重要文化財）の保存修理工事に伴って実施した。

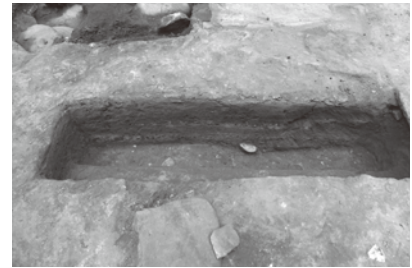
調査では、上屋解体後、基礎の写真撮影と現況測量を実施した。合わせて、上屋解体時に煙出しの痕跡が見つかったことで、カマドの存在が想定されたことから、その真下にあたる店舗部南西側の土間部分にトレンチを設定し、カマドの有無の確認を行った。その結果、埋土中より焼土のほか、石材が出土したことから、カマドが存在し、石材はその破壊に伴い埋められたものと判断した。さらに掘り下げを進め、カマドの下部を確認、床面まで検出を行った。このカマドの床面レベルは店舗部の土間レベルより低く、仏間部の基礎レベルと近いことから、このカマドは当初、仏間部建築時（18世紀前半）に作られたものと想定される。また、カマドの使用が終了した時期は明確ではないが、埋土中よりガラス瓶が出土していることから、明治時代以降と思われる。

このほか、店舗部床面トレンチを設定し、下層の確認を行った結果、現地表面より、約10cm下位で焼土層を確認した。店舗部の建築年代は安永7年（1778）であることから、この焼土層は明和9年（1772）の大火の際のものとして想定され、その上に店舗部建築の際の造成を行ったと考えられる。

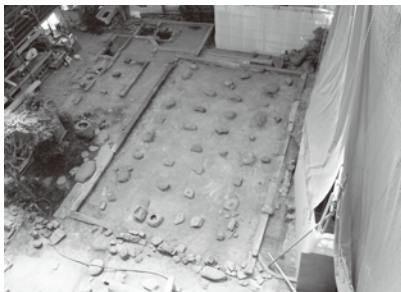
（若杉）



調査地位置図（1/5,000）



店舗部土層堆積状況



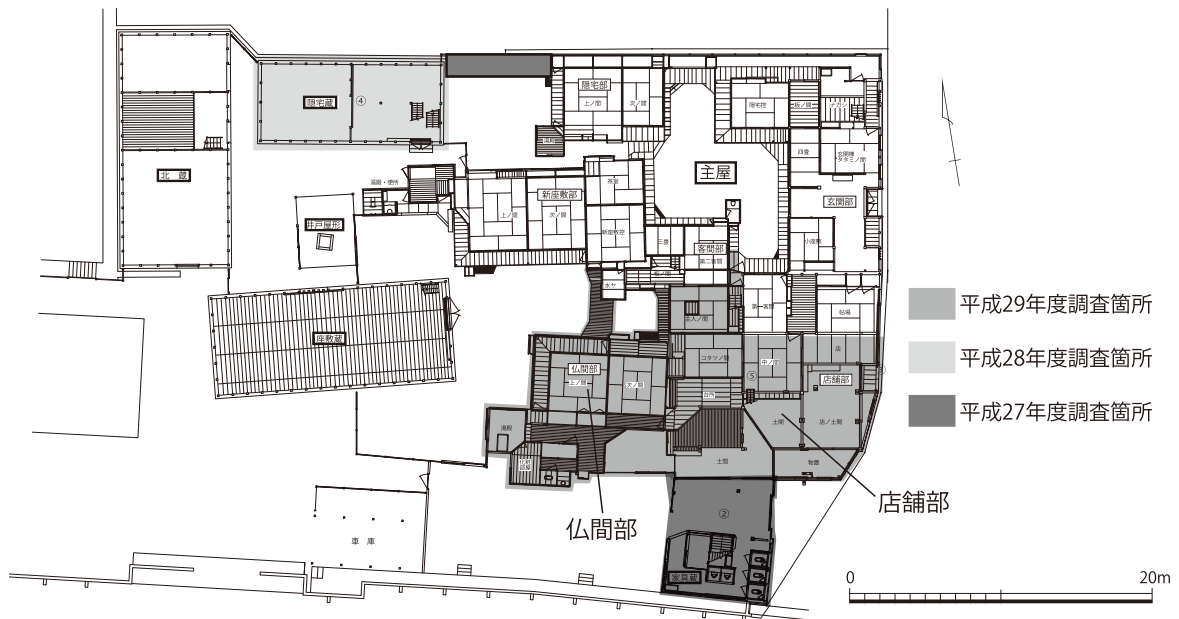
仏間部全体写真（北東より）



店舗部全体写真（西より）



店舗部カマド発掘状況（南東より）



草野家住宅調査地点配置図（1/500）

永山城跡は、日田市街の北部を西向きに南流する花月川の右岸に位置する独立丘陵上にある。なお、同地の花月川を挟んで左岸側は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町となる。

永山城の築城は慶長6（1601）年とされ、現在は石垣や曲輪、堀の一部が残っており、平成28年に県史跡に指定されている。

今回の調査は、地元自治会が、史跡地内の桜の老木の世代交代のために苗木を植樹することに伴い実施したものであり、植樹坑および苗木の生長が、史跡に何らかの影響を及ぼすのかどうかを確認することを目的としたものである。

調査は、公園広場の（明治期のものとされる堀石垣の天端にあたる）白壁沿いに現存する桜の周辺を対象にトレンチを9箇所設定し実施した。調査では、重機または人力にて、埋土の状況を確認しつつ可能な限り掘り下げたが、いずれのトレンチでも城に関する遺構は確認されなかった。遺物は、同丘陵に存在する横穴墓に伴うものと思われる土師器や須恵器のほかに、陶磁器片や棧瓦片、ガラス板片、ビール瓶等がみられた。

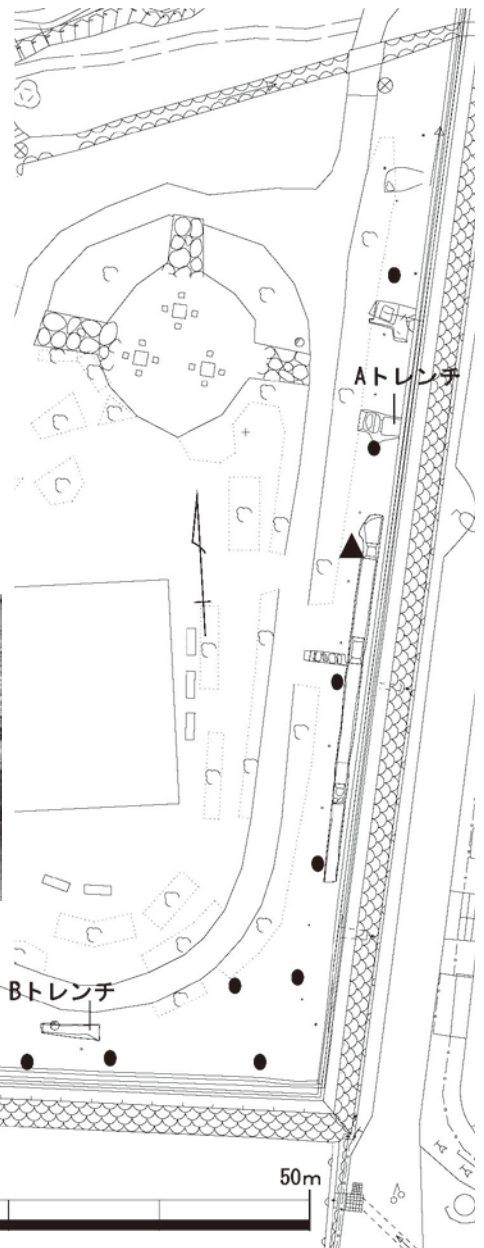
今回の調査により確認できた地層（埋土層）は、出土遺物やその出土状況などから、おおむね近代以降、おそらくは日田県知事官舎廃止後（日田県廃止は明治4年）に建築された裁判所や、その後の公園造成時に伴う可能性が高いと考えられた。

以上のことから、今回の植樹による史跡への影響は無いと判断することができた。ただし、既存の桜の樹根が石垣に対し顕著に影響を与えている部分は見られないものの、今回の植樹位置は、石垣から2～3mしか離れていないため、植樹後に生長した桜の根が、石垣に悪影響を与えることは十分に考えられる。今後、石垣の孕みについて、注意していく必要がある。

（行時）



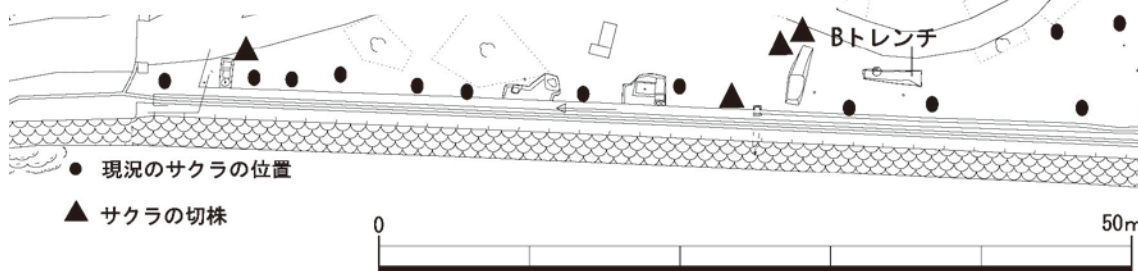
調査地位置図（1/5,000）



Aトレンチ土層（南から）



Bトレンチ土層（西から）



トレンチ位置図（1/500）

II 史跡等整備事業

1. 国指定史跡咸宜園跡

前年度に公有化が完了した指定地西側の“西家（塾の西側）”指定範囲について、次年度以降に予定している発掘調査に先立ち、その敷地内における建物等の配置や間取り、塾として利用されなくなった後の土地および建物変遷に関して履歴調査を実施した。

調査の結果、西家（西塾側）の東側の境界が現在と大幅に異なることや、明治22年以降におかれていた日田郡役所の建物建替えなどが判明した。（今田）

咸宜園跡全景（上空より）▶
写真の中央をS字状に縦貫している道路（市道御幸通り線）の右側が東家（塾の東側）、その道路の左側が西家。また、写真の右上の施設が「咸宜園教育研究センター」。

〔平成27年3月撮影〕



2. 国指定史跡廣瀬淡窓旧宅及び墓

平成28年度に策定した、整備活用基本計画に基づき、旧宅エリアの北家について、基本設計の作成業務を実施した。設計においては、現状を維持するための修理を基本とすること、また、展示施設については、既存の1号館（新座敷）・2号館（2号蔵）の改修を行い、3号蔵を多目的スペースとして、新たに3号館として整備を図ることとした。

このほか、整備に伴う、北家の座敷北庭園の雨水枡及び雨水管の埋設予定箇所にてトレンチを設定し、遺構等の確認を行った。以下、概要を記述する。調査では、管の埋設予定深度までの掘り下げに留めて確認を行った。その結果、トレンチ内からは、栗石が数個確認されたが、土層観察により、全て庭園作庭時の造成土と判断し、工事にあたっては問題ないと判断した。なお、この造成土中より陶磁器が約20点出土した。今後は、調査ができなかったコンクリート部分や主屋・座敷の部分については、工事の進捗に合わせて調査を実施、今回確認された栗石が広がるかどうかも含め、遺構の有無を確認する予定である。

なお、事業主体は所有者の廣瀬家であり、日田市は国・県とともに市費による補助金を交付し、また業務支援を行った。（若杉）



トレンチ発掘状況（北西から）



トレンチ南壁土層堆積状況



トレンチ南西壁土層堆積状況

3. 国指定史跡ガランドヤ古墳

ガランドヤ1号墳の装飾を保護するため、内部環境の安定化の調査を昨年度引き続いて実施し、環境を制御する運用方法の検討を行った。その結果、石室内を密閉する時期、換気を行う時期の方針が概ね決定した。そのほか、昨年度からの繰越事業である公有化部分の引き渡し完了した。これに伴い、史跡地内の整備工事及び進入路等の整備工事を次年度へ繰越し、次年度の事業とともに実施する予定である。（若杉）

Ⅲ 普及・啓発事業

(1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成15年度より普及啓発事業を中心とした埋蔵文化財センター運営事業を継続して行っており、今年度は企画展および市民を対象とした考古学講座、考古体験などを実施した。

月	見学者数	内訳	
		団体	個人
4月	14		14
5月	133	113	20
6月	21	13	8
7月	28		28
8月	50(32)		50(32)
9月	59	25	34
10月	105	63	42
11月	44	34	10
12月	10		10
1月	6		6
2月	4		4
3月	16		16
計	490	248	242

【主な来訪団体】

- ・三和小学校（46名/5月）
- ・桂林小学校（67名/5月）
- ・いつま小学校（13名/6月）
- ・夜明公民館（7名/9月）
- ・西有田公民館（18名/9月）
- ・三芳小学校（59名/10月）
- ・光岡公民館（4名/10月）
- ・福岡市西区歴史よかとこ案内人連絡協議会（34名/11月）

※8月見学者数のカッコ内の数値は、27日～31日までの企画展開催後の見学者数である。



常設展見学風景

表8 埋蔵文化財センター見学者数

1. 平成29年度日田市埋蔵文化財センター企画展

「最新の発掘調査成果展－掘り出された日田の歴史－」

（開催期間：平成29年8月27日～平成30年3月30日）

近年市内で実施された発掘調査の成果のなかでも、市の歴史の新たな発見につながった遺跡を7カ所取り上げ、出土遺物や写真パネルの展示を行った。考古学講座「タイムトリップひた vol.15」連動企画。期間中には、市内外から276名の来館者があった。



企画展見学風景

2. 考古学講座「タイムトリップひた vol.15」

市民を対象に、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために「九州における近年の考古学の成果」をテーマとして、市内外から講師を招き、全6回の講座を実施した。

月 日	回数	内 容	講 師	受講人数
7/19	第1講	永山城跡の地震被害と復旧について	市職員 行時・若杉	26
8/9	第2講	唐津城跡本丸での文化財調査と石垣修理	佐賀県唐津市教育委員会 生涯学習文化財課 坂井 清春氏	39
9/13	第3講	長崎県鷹島海底遺跡における 蒙古襲来船調査成果と水中考古学	琉球大学法文学部教授 池田 榮史氏	49
10/11	第4講	国史跡船原古墳 一華麗なる馬具の発見！一	福岡県古賀市教育委員会 文化課 森下 靖士氏	27
11/8	第5講	キリシタン墓碑の様相からみたキリシタン統制	大分県臼杵市教育委員会 文化・文化財課 神田 高士氏	37
11/26	第6講	バスツアー ～ 唐津城・松浦市立埋蔵文化財センター～	—	37

表9 講座の内容と受講者数



第3講



第4講



バスツアー（唐津城）

3. 考古体験

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火熾し体験・展示見学・整理作業見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施した。

また、企画展開催に併せて勾玉づくり教室を開催した。

月日	団体名	内容	場所	参加人数
5月9日	三和小学校	考古の話・展示見学	埋蔵文化財センター	46
5月12日	桂林小学校	考古の話・展示見学	埋蔵文化財センター	67
6月1日	いつま小学校	考古の話・展示見学、 現地見学	宇土遺跡3号墳 埋蔵文化財センター	13
8月27日	『勾玉づくり教室』(企画展開連イベント)	勾玉づくり	埋蔵文化財センター	16
9月28日	西有田公民館知っちょる会	考古の話・展示見学、 現地見学	埋蔵文化財センター 小迫辻原遺跡 日田市立郷土史料館	18
10月20日	三芳小学校	展示見学・火おこし	埋蔵文化財センター	59
11月9日	福岡市西区歴史よかとこ案内人連絡協議会	展示見学	埋蔵文化財センター	34

表 10 考古体験の内容と参加者数



勾玉づくり教室



展示見学 (三和小学校)



「考古の話」実施風景 (桂林小学校)



火おこし体験 (三芳小学校)

(2) 普及啓発事業

遺跡の調査内容を広く市民に公開するため、現地説明会、講師の派遣や調査報告書の作成などを行った。

1. 現地説明会・体験会

◆ボランティアによる国指定史跡小迫辻原遺跡草刈りと播種イベント

開催日：草刈り：平成29年10月24日、播種イベント：平成29年11月2日

場 所：小迫辻原遺跡

参加者：草刈り：4名、播種イベント80名(朝日小学校1・2・4・6年生、引率含む)

内 容：地域の文化財に触れ、歴史に対する関心を深めるため、草刈りボランティアを募集し、史跡の維持管理としての除草作業を行うとともに史跡についての解説を行った。

また、史跡景観を良好に保ち、文化財への理解を深めてもらうために行っているコスモスや菜花の播種作業にあたっては、地元の朝日小学校の協力を得ており、児童らの参加のもと実施することにより、身近な文化財への愛護意識を高めることができた。



ボランティアによる草刈り作業風景



小学生による播種イベント



菜花の開花状況

◆県指定史跡永山城跡 災害復旧工事現場説明会 ―熊本地震での崩落から2年、修復完成間近の石垣―

開催日：平成30年3月18日

場 所：史跡永山城跡災害復旧工事現場（月隈公園）

協 力：田中建設株式会社、株式会社埋蔵文化財サポートシステム大分支店

参加者：3回実施 計133名（市内：115名、市外：18名）

内 容：平成28年4月に発生した熊本地震により崩落した石垣の復旧工事について、史跡への関心を高めてもらうため、普段は立入禁止となっている工事現場を公開し、工事の進捗状況や施工方法、工事に伴い実施した発掘調査の成果等について解説した。



全体説明風景



1工区（大手石垣）説明風景



2工区（天守石垣）説明風景

2. 講師派遣・講師依頼

講師の派遣依頼は8件であった。小学校や公民館活動に伴う子ども対象の依頼が多いものの、他自治体の講座や民間団体主宰の見学会など成人対象の依頼もあった。

月 日	区分	派遣・依頼先	内 容	講 師	参加人数
6月13日	派遣	三芳公民館（三芳小学校6年生）	法恩寺山古墳群現地見学	若杉・行時	59
6月22日	派遣	朝日小学校6年生	朝日地区の遺跡と歴史	上原・行時	20
9月16日	派遣	小郡市考古学講座「筑後川流域の考古学Ⅲ」	筑後川上流域の弥生時代遺跡（吹上遺跡とその時代）	渡邊	—
10月16日	派遣	高瀬公民館（高瀬小学校6年生）	高瀬地区の史跡と歴史について講話と現地見学	行時・長	39
11月19日	派遣	大分県埋蔵文化財講座「夢とロマンを追いかけて」	弥生の王墓―吹上遺跡―	渡邊	80
11月21日	派遣	日田林工高校建築土木科3年生・大分県建設業協会日田支部青年部会合同現場見学会	永山城跡災害復旧現場見学	若杉・行時	60
11月30日	派遣	咸宜公民館「咸宜学」	咸宜地区の歴史と文化財	行時・長	26
12月23日	派遣	日田考古学同好会	日田市の文化財行政の近況	若杉	25



三芳公民館（法恩寺山古墳群）



高瀬公民館（講話）



朝日小学校（講話）



大分県埋蔵文化財センター（講話）



大分県建設業協会（永山城跡）



咸宜公民館（講話）



日田考古学同好会（講話）

3. 刊行物

埋蔵文化財の発掘調査報告書を5冊と平成28年度の埋蔵文化財年報を作成した。

シリーズ 番号	書名	体裁	総頁	内容	編集 担当
—	平成28年度（2016年度）日田市埋蔵文化財年報	A4	20	平成28年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、文化財保護事業、普及啓発事業などを所収。	渡邊
第131集	手崎遺跡3次	A4	22	医療施設兼個人住宅建築工事に伴う調査の成果を所収。弥生時代後期と古代（8世紀前半）の竪穴建物や土坑等の遺構を確認。	上原
第132集	求来里の遺跡V —県営経営体育成基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(6)一町ノ坪遺跡A・C区の調査	A4	80	圃場整備に伴う調査の成果を所収。弥生時代中・後期、古墳時代中～後期、奈良時代の建物や、中世の水田層、大量の陶磁器が廃棄された近世の屋敷溝などを確認。初期須恵器や多孔式甕など朝鮮半島系の遺物が出土。	若杉
第133集	上井手遺跡4次	A4	36	宅地造成工事に伴う調査の成果を所収。縄文時代後期後半～後期末の溝状遺構から大量の縄文土器が出土。	若杉
第134集	日田条里遺跡飛矢地区2次	A4	28	店舗建設工事に伴う調査の成果を所収。弥生時代後期～奈良時代の建物や溝などを確認。溝の埋没の最終段階で遺物の二次的廃棄が行われた可能性が指摘される。	行時
第135集	柳ノ本遺跡1・2次	A4	58	医療施設建設に伴う文化財調査の成果を所収。弥生時代中期～古代の建物・土坑や甕棺墓・石棺墓・土坑墓からなる墳墓群を確認。	渡邊

(3) 文化財の保存修理

重要文化財大分県吹上遺跡出土品の保存修理

事業は、紀元前2世紀から1世紀頃にあたる弥生時代中期後半の日田地方の有力者の墳墓群の副葬品である重要文化財「大分県吹上遺跡出土品（平成22年6月29日指定）」577点の修理を8年間に亘って計画的に行うものである。

平成23～28年度に引き続き、平成29年度は、5号甕棺墓上甕、6号甕棺墓下甕の計3点の修理作業を実施した。いずれの甕も器面の風化が著しく、剥落や軟弱化が見られるなど不安定な状態で、保管と展示などが一体的に行える収納方法が脆弱な状態であった。

そこで、国庫補助事業及び公益財団法人住友財団の助成を受けて修理作業を行った。

作業は、株式会社東都文化財保存研究所が請け負った。

5号甕棺墓上下甕と6号甕棺墓下甕は解体してクリーニングを行い、アクリル樹脂溶液を含浸強化した後に復元し、収納保管や展示までを一連に行えるようにした。また、前年度に作成した6号甕棺墓上甕の収納保管台座に合わせて保存箱外蓋の作成を行った。

以上の作業の結果、従来の不安定な状態は大幅に改善された。今後は安定化の状態を見ながら、展示等への活用を図っていく予定である。

(上原)



5号甕棺墓上甕



5号甕棺墓下甕



6号甕棺墓上甕



6号甕棺墓下甕

(4) その他

1. 掲載申請

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
5月15日	貸出	平成28年度刊行埋蔵文化財調査報告書	ひたインターネット協議会	ホームページ掲載
7月12日	貸出	ガランドヤ2号墳 奥壁写真	大分県立埋蔵文化財センター	企画展展示
10月12日	貸出	城下町遺跡出土遺物 写真	大分県立埋蔵文化財センター	ポスター・チラシ掲載
10月16日	貸出	史跡ガランドヤ古墳保存整備事業報告書 掲載写真	秋月立雄	論文掲載
10月19日	貸出	重要遺跡大分県吹上遺跡出土品（2号甕棺上甕）写真	公益財団法人 元興寺文化財研究所	企画展展示
12月13日	貸出	朝日天神山古墳周溝出土遺物 出土状況写真	株式会社 雄山閣	雑誌掲載

2. 資料貸出

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
4月1日	貸出	筑後軌道関連資料（犬釘5点）	日田市観光協会	常設展示
5月25日	貸出	亀石山遺跡出土遺物	大分県立歴史博物館	企画展展示
7月12日	貸出	ガランドヤ古墳2号墳 奥壁写真	大分県立埋蔵文化財センター	企画展展示
10月13日	貸出	火起こし道具（10セット）	NPO法人日田子ども劇場	イベント使用
10月16日	貸出	史跡ガランドヤ古墳保存整備報告書掲載写真	秋月立雄	論文掲載
10月19日	貸出	重要文化財大分県吹上遺跡出土品修理写真	公営財団法人 元興寺文化財研究所	企画展展示
10月27日	貸出	貫頭着（4着）	石松愛明	イベント使用
11月21日	貸出	城下町遺跡出土遺物	大分県立埋蔵文化財センター	企画展展示
12月13日	貸出	朝日天神山古墳周溝須恵器出土状況写真	株式会社 雄山閣	雑誌掲載
3月23日	貸出	宇土遺跡出土投弾	大分県立歴史博物館	常設展示

3. 資料閲覧

平成29年度は無し。

4. 図書の収蔵

平成29年度に各団体から寄贈を受けた図書。

総数565冊。

[内訳]

文化財機関23冊、大学46冊、博物館42冊、都道府県教育委員会94冊、市町村教育委員会331冊、その他29冊

平成29年度購入図書。

下記月刊誌を定期購読。

・月刊文化財 ・月刊考古学ジャーナル ・文化財発掘出土情報

IV 史跡の災害復旧

1. 県指定史跡 永山城跡

平成28年4月の熊本地震により被災した永山城跡について、引き続き災害復旧工事を実施した。 ※次頁「永山城跡施設名称図」参照。

平成29年度の工事は、崩落した石垣等の本格的な復旧に着手した。

工事では、まず6月から支障物の撤去、仮設道の設置を行い、これと並行して、崩落石材の収集・選別、崩落状況の測量図化及び元位置特定を実施した。

仮設道の設置は7月末に終了し、その後、足場の設置、解体範囲の検討、解体石材の番付け等を経て、11月初旬以降、天守跡の一部である石垣2（以下、2工区）より取合せ部の解体、背面掘削を行い、順次、裏込め施工・石積みを実施した。また大手石垣の一部である石垣9・10（以下、1工区）は、12月中旬より取合せ部の解体を開始、1月下旬以降、裏込め施工・石積みを行った。なお、石積み作業は、平成30年4月までの予定で、その後、天端盛土の施工及び仮設道等の撤去、撤去を行った支障物の復元等を行うこととした。なお、石垣の崩落によって倒壊した月隈神社の鳥居と石灯笼についても、今後修復に取り組んでいくこととしている。

また、石積みに伴う上面掘削（1工区のみ）及び背面掘削（1・2工区）部分について発掘調査を実施し、遺構の有無や土層の堆積状況の確認などを行った。



1工区グリ石列施工状況



1工区石積み状況



2工区グリ石列施工状況



2工区石積み状況

以下、調査の概要を記述する。

【1工区】調査期間：11月6日～2月5日 調査面積：122㎡

石垣8・9・10で囲まれた天端全面を対象とし、平面的な遺構の有無の確認を行うとともに、背面掘削に伴い背面盛土の土層確認も行った。平面的な調査では、土層を1層ずつ除去しながら遺構の有無を確認したが、石垣8・9・10はいずれも複数回の積み直し痕跡が石垣表面の観察からうかがえることから遺構残存の可能性は低いと推察され、実際に城としての遺構は確認できなかった。背面掘削に伴う土層確認では、石垣10と平行方向の背面盛土とグリ石の境目の一部で大きめのグリ石が並べられている「裏留め石」の列が見られた。背面盛土は、ほぼ全体が灰土からなり、人為的に盛ったものではあるが搗き固めた様子は見られず、全体的に土に締まりがないため、急斜面側の特に脆弱な部分にのみ補強として「裏留め石」が施工された可能性が考えられる。



1工区発掘調査状況



永山城跡施設名称図 (1/1500)

施設名称凡例一覧表

施設番号	種別	名称	備考	規模 (m)	標高 (m)	面積 (㎡)	石垣番号	名称
A	曲輪	天守跡		19 16	120	347	1	天守跡北
B	曲輪	本丸跡		51 37	117	1777	2	天守跡西
C	門	搦手門		— —	—	—	3	本丸跡北
D	曲輪	大手門北櫓台		— —	116	—	4	曲輪③南西
E	曲輪	大手門南櫓台		13 13	117	—	5	大手門北櫓北
F	曲輪	曲輪①	井戸有	43 22	92	584	6	大手門北櫓西
G	曲輪	曲輪②		16 10	106	129	7	大手門北櫓南
H	曲輪	曲輪③		49 20	105	734	8	大手門南櫓北
I	曲輪	曲輪④		13 12	110	113	9	大手門南櫓西
J	曲輪	曲輪⑤		45 22	111	861	10	大手門南櫓南
K	曲輪	曲輪⑥		23 14	99	287	11	曲輪⑤南東
L	曲輪	曲輪⑦		12 10	97	89	12	曲輪⑤南
M	曲輪	曲輪⑧	堀曲輪	84 48	89	2252	13	曲輪⑧北
N	曲輪	曲輪⑨	堀曲輪	— —	89	—	14	曲輪⑤南
O	曲輪	曲輪⑩	堀曲輪	180 60	89	9744	15	曲輪⑩北西
I	堀	肥後どん堀	—	— —	87	—	16	曲輪⑧北
II	堀	—	—	— —	87	—	17	曲輪⑧西
III	堀	—	—	— —	85	—	18	曲輪⑧西
IV	堀	—	—	— —	86	—	19	曲輪⑤南
V	堀	—	—	— —	87	—	20	曲輪⑩南
							21	曲輪⑩東

※永山城にかかる施設の詳細及び名称については、上記位置図及び凡例表に統一して表現するものとし、以下の報告文中及び図中の標記もこれに基づくものとする。



1工区背面盛土とグリ石（石垣10側から）



1工区石垣10に平行する裏留め石

【2工区】調査期間：11月10日～11月16日

背面掘削に伴う背面盛土の土層確認を行った。背面は1工区と同様に全体が灰土からなる締まりの無い盛土であるが、天端から2/3ほどの高さで凝灰岩の岩盤が掘削範囲内で露出し、この岩盤より上の背面盛土とグリ石の境目では1工区のものよりしっかりと積まれた「裏留め石」列が確認され、石垣を積むにあたり、岩盤をうまく利用している様子が見えかけた。



2工区背面盛土とグリ石

1・2工区とも築石には控えの長い川原石を選択して使用しており、これまでの想定よりも丁寧な石積みが施されていることがわかった。しかしグリ石は全体的に小さな玉石が多いためその役割を十分に果たせず、またグリ石の間に樹根や土が入り込んで石垣の機能が劣化していたところに、北東方向の強い揺れを受けたことから、今回崩落したものと考えられる。

なお、近年各地での石垣調査で確認例が増えつつある「築石面直交方向に大きめのグリ石で列をつくる」技法は、1・2工区とも確認されなかったが、耐震効果を期待して今回の施工方法として取り入れている。



2工区「裏留め石」検出状況

出土遺物としては、陶磁器・瓦・ガラス製品・須恵器・土師器などが見られる。須恵器・土師器は、山腹に数多く存在する古墳時代の横穴墓に由来するものと思われる。また、プラスチック製品などが見られることから、一部の石垣では極めて新しい時期に積み直しが行われたことがうかがえる。

(行時)

2. 国指定史跡 ガランドヤ古墳

平成29年7月5日に発生した九州北部豪雨により復元墳丘盛土が流失したことから、災害復旧工事を実施した。

流失した盛土は、墳丘南側に設けられた保護施設入り口に向かって右上方部分で、流失規模は高さ・幅とも約3mである。復旧工事では、盛土の埋め戻し及び植栽を実施した。

(若杉)



墳丘盛土流失状況



復旧工事施工状況



復旧工事完了状況



県指定史跡 永山城跡 災害復旧工事

平成29年度（2017年度）

日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成31年3月20日
編集・発行 日田市教育委員会
日田市教育庁文化財保護課
〒877-8601
大分県日田市田島2丁目6-1
☎ 0973-23-3111
印刷 尾花印刷有限会社
大分県日田市田島本町8-8
☎ 0973-23-0123